



日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

RECEIVED
AUG 07 2001
Technology Center 2600

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application:

2000年 2月21日

出願番号
Application Number:

特願2000-042654

出願人
Applicant(s):

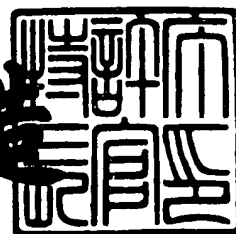
大日本印刷株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 5月31日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3050816

【書類名】 特許願

【整理番号】 P000007

【提出日】 平成12年 2月21日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60
G06F 17/40

【発明者】

【住所又は居所】 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

【氏名】 川端 和博

【特許出願人】

【識別番号】 000002897

【氏名又は名称】 大日本印刷株式会社

【代表者】 北島 義俊

【代理人】

【識別番号】 100111659

【弁理士】

【氏名又は名称】 金山 聡

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013055

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9808512

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 個人画像情報の登録活用システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 デジタルカメラにより撮影され、データ保存メディアに記憶された写真画像データを、該データ保存メディアから読み取って、該写真画像データをセンターサーバへ転送するためのメディア読取手段と、
該写真画像の個人情報を分類化する個人データの入力手段と、
該写真画像データの第三者への使用許諾可否を選定する登録手段と、
上記の個人データから分類化され、要求された画像データを検索し、抽出するデータベースをもち、該写真画像データと個人データを蓄積し、それらのデータを関連付けて検索、抽出できるセンターサーバと、
該写真画像データの出力手段から構成された個人画像情報の登録活用システムにおいて、
使用許諾可の登録がされた時に、メディア読取手段から写真画像データをセンターサーバへ記憶させ、画像データの検索、抽出対象となり、該写真画像の関係者及び第三者が必要に応じて写真画像データを取り出し、出力が可能となることを特徴とする個人画像情報の登録活用システム。

【請求項 2】 上記メディア読取手段と、個人データ入力手段と、使用許諾可否の登録手段が、一つの店舗のサーバ内で行われることを特徴とする請求項 1 に記載する個人画像情報の登録活用システム。

【請求項 3】 上記の店舗サーバが複数あり、店舗サーバとセンターサーバとがネットワークで連結され、任意の店舗で写真画像データの出力が可能であることを特徴とする請求項 2 に記載する個人画像情報の登録活用システム。

【請求項 4】 料金支払手段を設け、該支払手段が実行された後に、写真画像データの出力が行われることを特徴とする請求項 1 に記載する個人画像情報の登録活用システム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】



【発明の属する技術分野】

本発明は、顔写真画像等の個人情報のデジタル画像を入力し、インターネット等のネットワークを介して、プリント物、ダイレクトメールやCD-ROM、MO等の記録媒体に出力する、個人画像情報を登録し、活用する、個人画像情報の登録活用システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

デジタルカメラやスキャナにより顔写真画像等の個人情報をパソコンに取り込み、熱転写記録やインクジェット記録等でフルカラーの写真画像の印画物を個人的に出力することが行われている。

また、特開平11-203360等に挙げられているように、ユーザーのデジタル画像をインターネット等のネットワークを介して使用し、専門業者による写真現像プリントの注文を受け付けるサービスも知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上記のように、デジタル画像を入力して、写真の印画物を得ることが数多く行う機会がでてきたが、最終的に得る印画物に対する購入コストが高く、世間一般で広く使用するには、大きな制約となっている。

また、顔写真画像等の個人情報は、家族、友人等の身内の範囲内で利用されているのが現状であるが、被写体の人の了解があれば、良く撮れた写真画像を悪質なことなく、正常な目的をもった用途で有効に使用してもらえれば、個人情報の所有者及びその利用者にとって、共に有意義なことである。ところが、上記の個人情報が第三者に有効に利用される機会がほとんどない状況である。

【0004】

したがって、本発明は上記の点に鑑みなされたもので、顔写真画像等の個人情報としてのデジタル画像の出力物としての印画物を安価に入手することができ、また個人情報所有者ないし被写体個人の許諾条件のもとで、該デジタル画像を第三者が有効に利用することができる、個人画像情報の登録活用システムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明では上記課題を解決するために、デジタルカメラにより撮影され、データ保存メディアに記憶された写真画像データを、該データ保存メディアから読み取って、該写真画像データをセンターサーバへ転送するためのメディア読取手段と、

該写真画像の個人情報を分類化する個人データの入力手段と、

該写真画像データの第三者への使用許諾可否を選定する登録手段と、

上記の個人データから分類化され、要求された画像データを検索し、抽出するデータベースをもち、該写真画像データと個人データを蓄積し、それらのデータを関連付けて検索、抽出できるセンターサーバと、

該写真画像データの出力手段から構成された個人画像情報の登録活用システムにおいて、

使用許諾可の登録がされた時に、メディア読取手段から写真画像データをセンターサーバへ記憶させ、画像データの検索、抽出対象となり、該写真画像の関係者及び第三者が必要に応じて写真画像データを取り出し、出力が可能となることを特徴とする。

【0006】

また、上記メディア読取手段と、個人データ入力手段と、使用許諾可否の登録手段が、一つの店舗のサーバ内で行われることを特徴とする。

さらに、上記の店舗サーバが複数あり、店舗サーバとセンターサーバとがネットワークで連結され、任意の店舗で写真画像データの出力が可能であることを特徴とする。

また、上記システムにおいて、料金支払手段を設け、該支払手段が実行された後に、写真画像データの出力が行われることを特徴とする。

【0007】

【作用】

本発明の個人画像情報の登録活用システムは、デジタルカメラにより撮影されて、データ保存メディアに記憶された写真画像データを読み取るメディア読取手

段と、該写真画像の個人情報进行分类化する個人データの入力手段と、該写真画像データの第三者への使用許諾可否の登録手段と、上記の個人データから分類化され、要求された画像データを検索し、抽出するデータベースをもち、該写真画像データと個人データを蓄積し、それらのデータを関連付けて検索、抽出できるセンターサーバと、該写真画像データの出力手段から構成されたシステムであり、使用許諾可の登録がされた時に、メディア読取手段から写真画像データをセンターサーバへ転送し、記憶させ、画像データが検索、抽出対象となり、該写真画像の関係者及び第三者が安い料金を支払って、写真画像データを取り出し、出力が可能となる。また使用許諾可の登録のもとで、該写真画像を第三者が要望に応じて、有効に利用することができる。

【 0 0 0 8 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の個人画像情報の登録活用システムについて、図面を参照して、実施の形態を挙げて詳細に説明する。

図 1 は、本発明の個人画像情報の登録活用システムにおける一つの実施の形態を示す概略図である。

一つの店舗サーバ 1 1 内に、デジタルカメラにより撮影されて、データ保存メディアに記憶された写真画像データ 8 を読み取るメディア読取手段 2 と、該写真画像の個人情報を分類化する個人データの入力手段 3 と、該写真画像データ 8 の第三者への使用許諾可否の登録手段 4 と、さらに写真画像データの出力手段 7 を設けている。また、別の地域にある店舗サーバ 1 2 には同様に、メディア読取手段 1 3 と、個人データ入力手段 1 4 と、使用許諾可否の登録手段 1 5 と、写真画像データの出力手段 1 6 を設けている。

【 0 0 0 9 】

メディア読取手段は、デジタルカメラにより撮影された写真画像データを、すなわちデジタル画像をスマートメディア、コンパクトフラッシュ（CF）カード、PCカード、フロッピーディスク、MO（光磁気ディスク）、CD-R等のデータ保存メディアに記憶されたものから読み取るもので、各データ保存メディアの種類及び画像フォーマットに対応して、各メディアを読み取り、書込み記憶させ

るドライブが個別に設置されている。尚、アナログ写真として銀塩写真プリント物から、スキャナを使用して、デジタル画像データを取り出し、読み取る方式でも用いることができ、さらに、店舗内にデジタルカメラを用意し、そのカメラから直接デジタル画像データを取り出す方式、つまりデジタルカメラで撮影したデジタル画像の写真画像データを直接センターサーバへ、転送することも可能である。

【0010】

また、撮影された写真画像の個人情報进行分类化する個人データの入力手段としては、例えば被写体である個人（一人のみでなく、複数人でも適用される）、動植物等の区別、性別、年代等を決められた階層の中から選定する固定コード方式を採用することが、後の検索、抽出するデータベースシステムを複雑化せずに、より簡易に高速処理が行える点で好ましい。また、上記の固定コード方式で個人データを分類化するには不十分な点がある場合には、該個人データを特徴付けるキーワードを、入力することも可能である。但し、キーワードは入力数を限定しておき、センターサーバ内での個人データ、画像データの記憶容量に余裕をもたせておき、多くの画像データを取り込んだシステムにして、多くの人たちがそのシステムを利用できることが好ましい。

【0011】

上記の個人データは、写真画像の個人情報を可変コードとして、例えば氏名、年令（年代のような範囲指定ではなく、個別の年令）、家族構成の位置づけ（長男、長女、孫等）等のその個人をより正確に特定すれば、本発明のシステムにおけるセンターサーバに、その個人や家族の写真画像のアルバム管理機能をもたせることが可能となる。例えば、長男の「大日本一郎」君が特定されれば、その一郎君の撮影された写真画像は全て検索、抽出でき、必要に応じて、小学校時代の全ての写真画像を編集して、一枚の印画物に例えば36枚分の写真画像を1/36の寸法でレイアウトして、インデックスプリントとして出力したり、適宜編集、出力が可能である。

【0012】

また、上記の個人データで年令の成長に合わせて、例えば、出産、七五三、幼稚

園入園、小学校入学、中学校入学、高校入学、大学入学、成人式、就職、婚約、結婚式、出産、以下繰り返しのよう、その個人の節目の記念に合わせて、年令の算出や婚約、結婚等の確認等を行い、上記の各節目毎に関連したクライアントからダイレクトメールを送付したり、誕生日には毎年、キャビネサイズの印画物を送付したりする、サービス展開が提案できる。

【0013】

本発明の写真画像データの第三者への使用許諾可否の登録手段は、被写体個人または被写体の代理人が、デジタル画像である写真画像データを、第三者が使用することを許諾するかどうかを選定し、登録するものである。例えば、第三者が企業宣伝の広告ポスターの画像として該写真画像データを使用したり、一般消費者向けのカレンダーの挿し絵として該写真画像データを使用したりすることを、許諾することである。この使用許諾可否の登録手段の際に、対象となる写真画像データをモニターで見て確認しながら行うことが好ましい。

【0014】

そして、その許諾したことに見合う条件として、まず該写真画像データの持ち主である個人が、本発明のシステムを利用して、写真画像データの出力物としてハードコピーの印画物を無料で入手できたり、当個人の識別コードやパスワードを入力して、家族の人や友人でも出力枚数の限定はあるが、該写真画像の印画物を無料で入手できるようにする。尚、上記の説明でプリント代金は無料の場合であるが、適宜低い料金設定で行うことも可能である。

上記の第三者が、営利目的等で写真画像データを使用して、利益を挙げるような場合には、上記の使用許諾の見返りとして、一定の算定基準等を定めておいて、第三者が画像データの所有者にライセンス料を支払うようにすることが好ましい。

【0015】

写真画像データの出力手段として、いわゆるデジタルプリンタによる写真画像データのフルカラーハードコピーの印画物を作成することが挙げられる。デジタルプリンタとして、昇華転写記録や熱溶融転写記録の熱転写方式や、インクジェット記録方式等の公知のものが使用できる。但し、フルカラーの銀塩写真画像に

匹敵する高品質の画像形成が可能である昇華転写記録方式のデジタルプリンタが好ましく用いられる。

また、本発明では写真画像データの出力手段は、印画物を作成するだけではなく、スマートメディア等のデータ保存メディアに画像データを書込み、記憶させることも包含したものである。

【 0 0 1 6 】

次に、図 1 に示すシステムにおいて、個人データから分類化され、要求された画像データを検索し、抽出するデータベースをもち、該写真画像データと個人データを蓄積し、それらのデータを関連付けて検索、抽出できるセンターサーバを有するものであり、該写真画像データの第三者への使用許諾可の登録がされた時に、メディア読取手段から写真画像データをセンターサーバへ記憶させ、その画像データが検索、抽出対象となり、第三者（該写真画像の関係者も含む）が必要に応じて、センターサーバに記憶された写真画像データを取り出せる。

【 0 0 1 7 】

例えば、第三者が企業宣伝の広告ポスターの画像として、センターサーバに記憶されている多数の写真画像データの中から、女の子の赤ちゃんが無邪気に笑っている場面の画像を使用したい要望がある時に、個人データ入力手段により入力された個人データの中から人間、動植物の分類では人間を、性別が女性、年代が赤ちゃん、さらに写真画像のキーワードで「笑い」、「遊び」等により、それらの個人データ条件を全て満足する検索をデータベースのソフトウェアを用いることで行い、抽出された画像データを全て、モニター等に映し出す。第三者がそのモニターにある画像を見て、要望に合致したものを選別し、選別された画像データを印画物で出力したり、またデータ保存メディアにその画像データを書込み、記憶させることができる。

【 0 0 1 8 】

上記の検索、抽出は分類条件が、人間等の区分、性別及び年代の固定コードだけではなく、写真画像データのキーワードを含めたものであったが、このように検索条件が固定コードだけの単純なものでなく、検索条件を変動させて、要望に合致したものを抽出するには、使用するセンターサーバの管理を行う専門会社等

に、その検索、抽出を委託し、写真画像データの入手を希望する第三者に抽出された画像データを提供することが好ましい。

もちろん、第三者が上記固定コードのみで、要望する写真画像を検索して、抽出する場合は、特別に専門会社に委託せずに、店舗サーバから個人データ入力手段の装置を利用して、センターサーバへの検索条件を指定し、検索結果を店舗サーバ内のモニター等に映し出して、写真画像を選定することができる。

【 0 0 1 9 】

図 1 で示すシステムは、上記で説明した店舗サーバが、2 個所の場所に設置しているものを示したが、それに限定されず、多数の店舗サーバを利用することができ、これらの店舗サーバ全てが、ネットワークを介して、センタサーバと連結され、場所的に離れた個所から、当システムを利用することができる。

尚、ネットワークはインターネットを中心とするネットワーク網を意味し、専用回線、CATV 網、ダイヤルアップ接続、LAN 等、画像データや個人データの転送を行うには十分な通信速度をもつ、あらゆる通信手段を含むものである。

【 0 0 2 0 】

図 2 は、本発明の個人画像情報の登録活用システムにおける他の実施の形態を示す概略図であり、一つの店舗サーバ 1 1 内に、デジタルカメラにより撮影されて、データ保存メディアに記憶された写真画像データ 8 を読み取るメディア読取手段 2 と、該写真画像の個人情報を分類化する個人データの入力手段 3 と、該写真画像データ 8 の第三者への使用許諾可否の登録手段 4 を設けている。また、その店舗サーバ 1 1 内には料金支払手段 1 7 が設けられ、1 0 0 円等のコインを料金支払口に投入して、一定料金を支払った後に、写真画像データの出力が行える手段 7 が使用可能となる。

【 0 0 2 1 】

また、別の地域にある店舗サーバ 1 2 には同様に、メディア読取手段 1 3 と、個人データ入力手段 1 4 と、使用許諾可否の登録手段 1 5 を設けている。

そして、その店舗サーバ 1 2 とは別個の場所に、例えば、センターサーバにアクセス可能な専門会社が、要望の写真画像を検索し、抽出後に、第三者と写真画像データの所有者、または第三者と画像データ所有者との間に特定会社を介在さ

せて、貴重な写真画像データの有効な利用を計るための使用許諾の契約に基づいた、料金の算出やその契約内容の確認等を、その専門会社や特定業者が行う。これらの料金の算出や契約内容の確認が行われ、料金支払の額や支払方法等の条件が確定された後に、それが料金支払手段 1 8 の実行されたことを意味し、写真画像データの出力手段 1 6 が実行可能となる。

【 0 0 2 2 】

図 2 で示すシステムは、上記で説明した店舗サーバが、2 個所の場所に設置されているが、それに限定されず、多数の店舗サーバを利用することができ、これらの店舗サーバ全てが、ネットワークを介して、センタサーバと連結され、場所的に離れた個所から、当システムを利用することができる。さらに、このシステム 1 では、使用許諾の料金の算出や契約内容の確認が行われ、料金支払額や支払方法等の条件を確定し、写真画像を第三者に譲渡することが確定する、つまり、その確定することが料金支払手段 1 8 を実行することを意味し、検索専門会社や料金算出の特定業者に設置してあるサーバがネットワークを介して、各地にある出力手段 1 6 に連結し、印画物の形成や画像データの保存メディアに記憶させたりすることができる。

【 0 0 2 3 】

図 3 は、本発明の個人画像情報の登録活用システムにおける処理を示すフローチャートである。まず、デジタル画像として、デジタルカメラで撮影して写真画像データを作成し、用意する。(ステップ n 1)

その際に写真画像データを保存メディアに記憶される場合が多い。

次に、その保存メディアから写真画像データをドライブから読み取る。(ステップ n 2)

その写真画像の個人情報を分類化する個人データを所定のフォーマットに従って、キーボードやタッチセンサパネルを用いて入力する。(ステップ n 3)

【 0 0 2 4 】

さらに、その写真画像データの第三者への使用許諾可否を選定する登録作業において、許諾 Y E S を登録 (ステップ n 4) すれば、次のセンタサーバに写真画像データと個人データが記憶される。(ステップ n 5)

次に、写真画像データの印画物や保存メディアへのデータ記憶に対する料金支払を行う。（ステップ n 6）但し、ステップ n 4 で第三者への画像データの使用許諾 OK を出しているため、その料金は安価に設定される。場合によっては、料金支払無し（無料）で次のステップ n 7 に行く。

上記料金支払のステップ 6 の次に、写真画像データの出力として、写真画像データの印画物を形成したり、保存メディアへの画像データを記憶させたりする。

（ステップ 7）

【 0 0 2 5 】

尚、ステップ n 4 で、使用許諾 NO を登録した場合は、ステップ n 5 をジャンプして、ステップ n 6 の料金支払を、コイン投入口にお金を入れることで実施し、ステップ n 7 の画像データの出力に進む。但し、本発明ではステップ n 4 で、写真画像データの第三者への使用許諾 NO を登録することは、センターサーバに画像データ、個人データを記憶、蓄積することができず、さらに料金支払においても、使用許諾 OK を出していないために、割高な料金設定となり、本発明の目的に合った条件ではない。

上記システムのフローチャートの説明は、写真画像データの所有者、ないしその代理人が行う処理に基づいたものである。

【 0 0 2 6 】

それに対して、写真画像データの所有者の家族や友人が、既に写真画像データが使用許諾可の登録がされ、センターサーバに写真画像データ、個人データが記憶されている条件下において、本発明の個人画像情報の登録活用システムを利用する処理を示したフローチャートが、図 4 である。まず、例えば店舗サーバに設置してある個人データ入力手段のために用いられるキーボードやタッチセンサパネル、モニター等を利用して、センターサーバにアクセスするために、パスワードや認証番号等を入力する。（ステップ n 8）

次に、センターサーバに記憶されている写真画像データの中で、取り出そうとする写真画像データをモニター等で確認して決定する。（ステップ n 9）

この時に、ステップ n 8 で入力した番号のみで、取り出す写真画像データが決定されるようにしたり、またステップ n 8 でセンターサーバにアクセスできるよ

うになっただけで、ステップ n 9 で改めて指定番号を入力して、指定する写真画像データを読み出し、確認して決定してもよい。

【0027】

次に、写真画像データが決まった後に、安い料金設定である、料金を支払う。
(ステップ n 1 0)

その料金支払後に、写真画像データの出力が実行される。(ステップ n 1 1)

そして、場合によっては、料金支払無し(無料)で、ステップ n 9 からステップ n 1 0 をジャンプして、ステップ n 1 1 に行き、写真画像データの出力が実行される。

上記の図 3、4 に示すようなシステムの利用は、店舗内で一連の操作、処理が可能な一つのコントロールボックスで行うことが、好ましく行われる。

【0028】

図 5 には、営利目的や、公益のために、特定の種類の写真画像データを入手したい第三者が、本発明の個人画像情報の登録活用システムを利用する処理を示している。

まず、第三者が入手したい写真画像データの特徴、つまり人間等の区分、性別及び年代の区分や、画像を特徴付けるキーワードを決めて、写真画像データの要求条件を決める。(ステップ n 1 2)

そして、その要求条件の写真画像データをセンターサーバ内のデータベースで検索、抽出する。(ステップ n 1 3)

【0029】

また、上記のステップ n 1 2 から、写真画像データの使用許諾の契約に基づいた、許諾料金の算出やその契約内容の確認等を行い、料金支払の額や支払方法等の条件を確定する。(契約の締結) (ステップ n 1 4)

そして、上記ステップ n 1 3 とステップ n 1 4 の両方が実施された後に、写真画像データの出力が実行される。(ステップ n 1 5)

図 5 で示されるようなシステムの処理は、第三者(会社、団体)の管轄した場所や検索専門会社内で行うことが好ましい。

【0030】

【発明の効果】

本発明の個人画像情報の登録活用システムは、デジタルカメラにより撮影されて、データ保存メディアに記憶された写真画像データを読み取るメディア読取手段と、該写真画像の個人情報を分類化する個人データの入力手段と、該写真画像データの第三者への使用許諾可否の登録手段と、上記の個人データから分類化され、要求された画像データを検索し、抽出するデータベースをもち、該写真画像データと個人データを蓄積し、それらのデータを関連付けて検索、抽出できるセンターサーバと、該写真画像データの出力手段から構成されたシステムであり、使用許諾可の登録がされた時に、メディア読取手段から写真画像データをセンターサーバへ転送し、記憶させ、画像データが検索、抽出対象となり、該写真画像の関係者及び第三者が安い料金を支払って、写真画像データを取り出し、出力が可能となる。

【0031】

また使用許諾可の登録のもとで、該写真画像を第三者が要望に応じて、有効に利用することができ、第三者が営利目的等で写真画像データを使用して、大きな利益を挙げるといった場合には、使用許諾の見返りとして、一定の算定基準等を定めておいて、第三者が画像データの所有者にライセンス料を支払うようにすることができる。

【図面の簡単な説明】**【図1】**

本発明の個人画像情報の登録活用システムにおける一つの実施の形態を示す概略図である。

【図2】

本発明の個人画像情報の登録活用システムにおける他の実施の形態を示す概略図である。

【図3】

本発明の個人画像情報の登録活用システムにおける処理を示すフローチャートである。

【図4】

本発明の個人画像情報の登録活用システムにおける処理を示すフローチャートである。

【図 5】

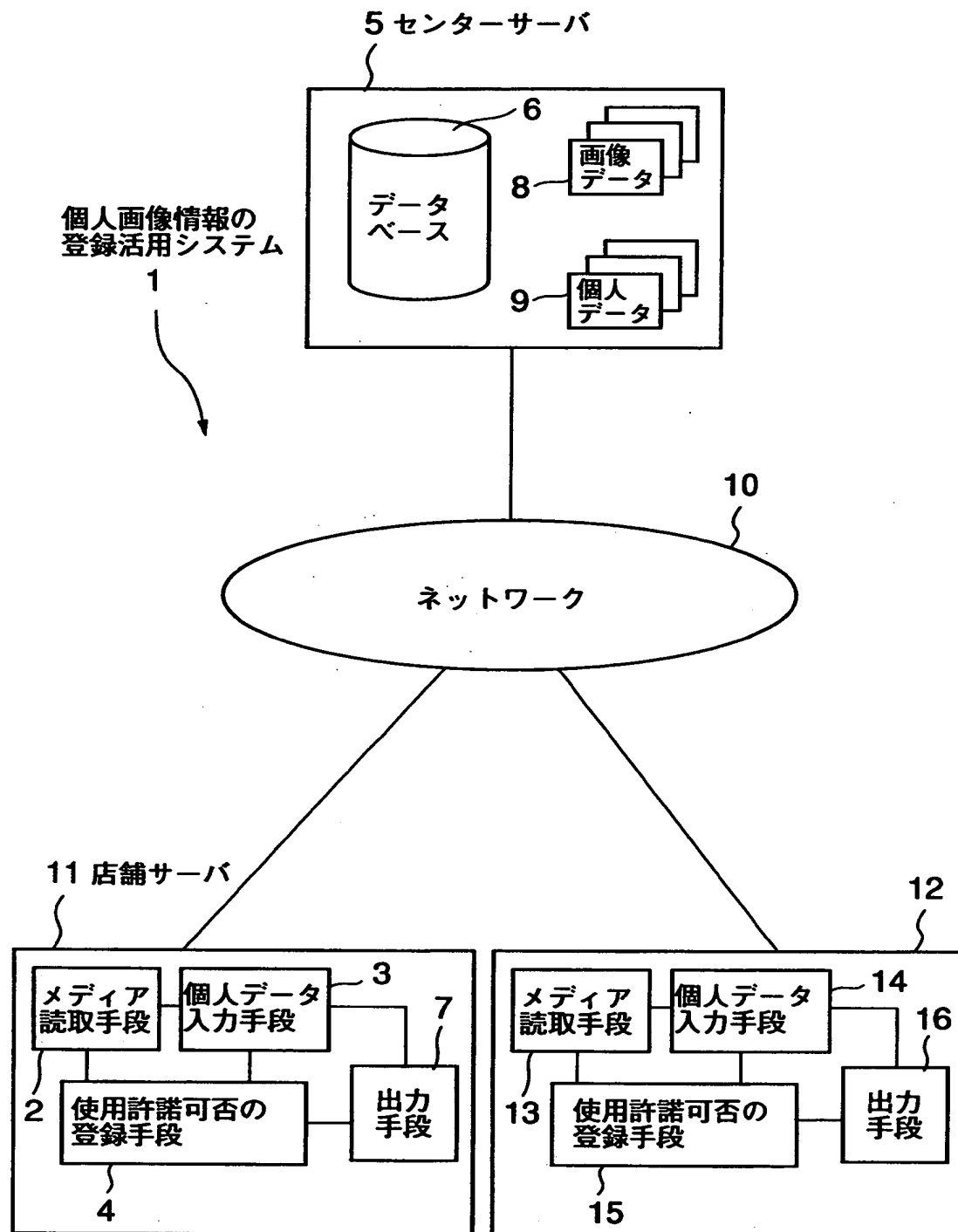
本発明の個人画像情報の登録活用システムにおける処理を示すフローチャートである。

【符号の説明】

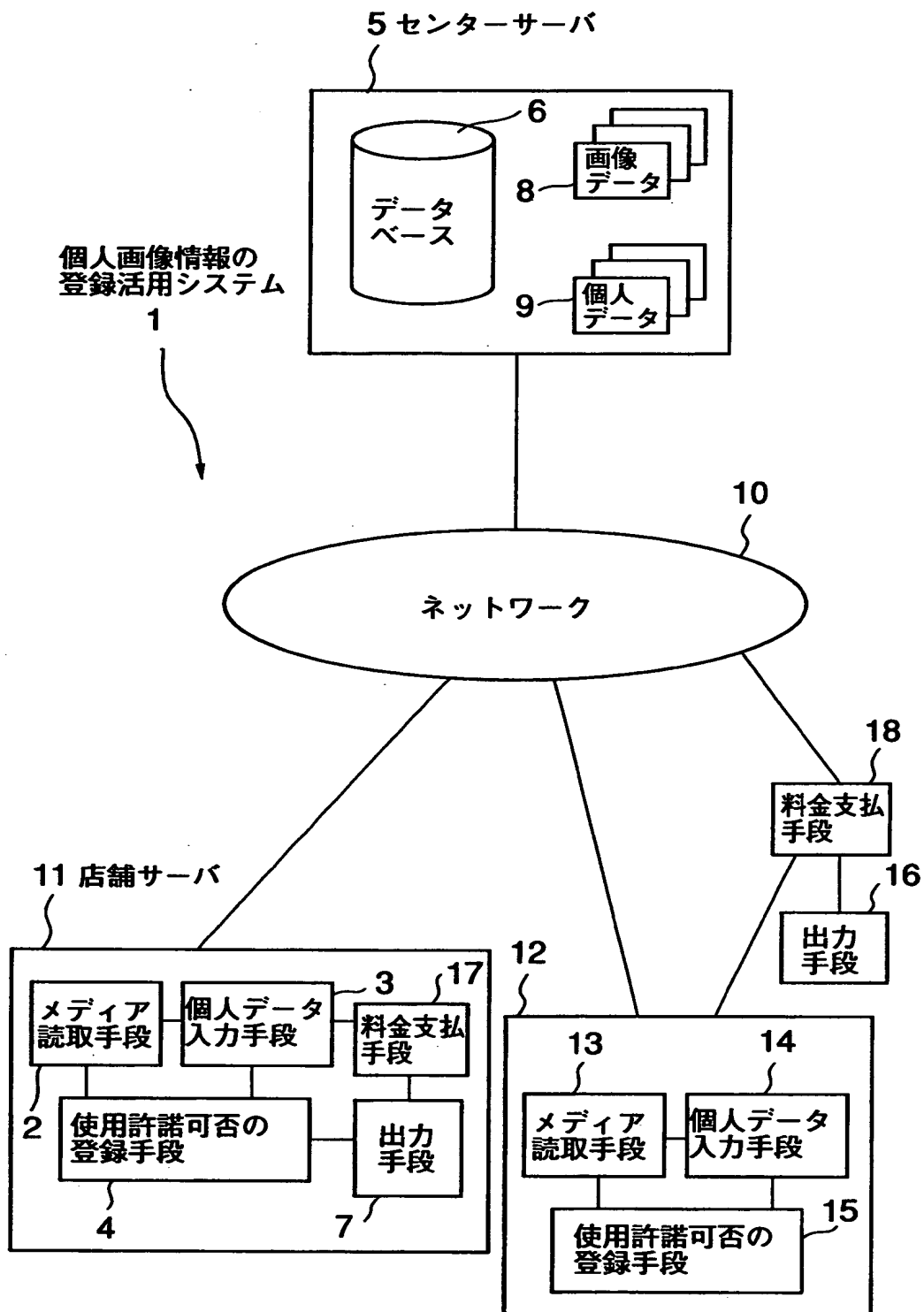
- 1 個人画像情報の登録活用システム
- 2、13 メディア読取手段
- 3、14 個人データ入力手段
- 4、15 使用許諾可否の登録手段
- 5 センターサーバ
- 6 データベース
- 7、16 出力手段
- 8 画像データ
- 9 個人データ
- 10 ネットワーク
- 11、12 店舗サーバ
- 17、18 料金支払手段

【書類名】 図面

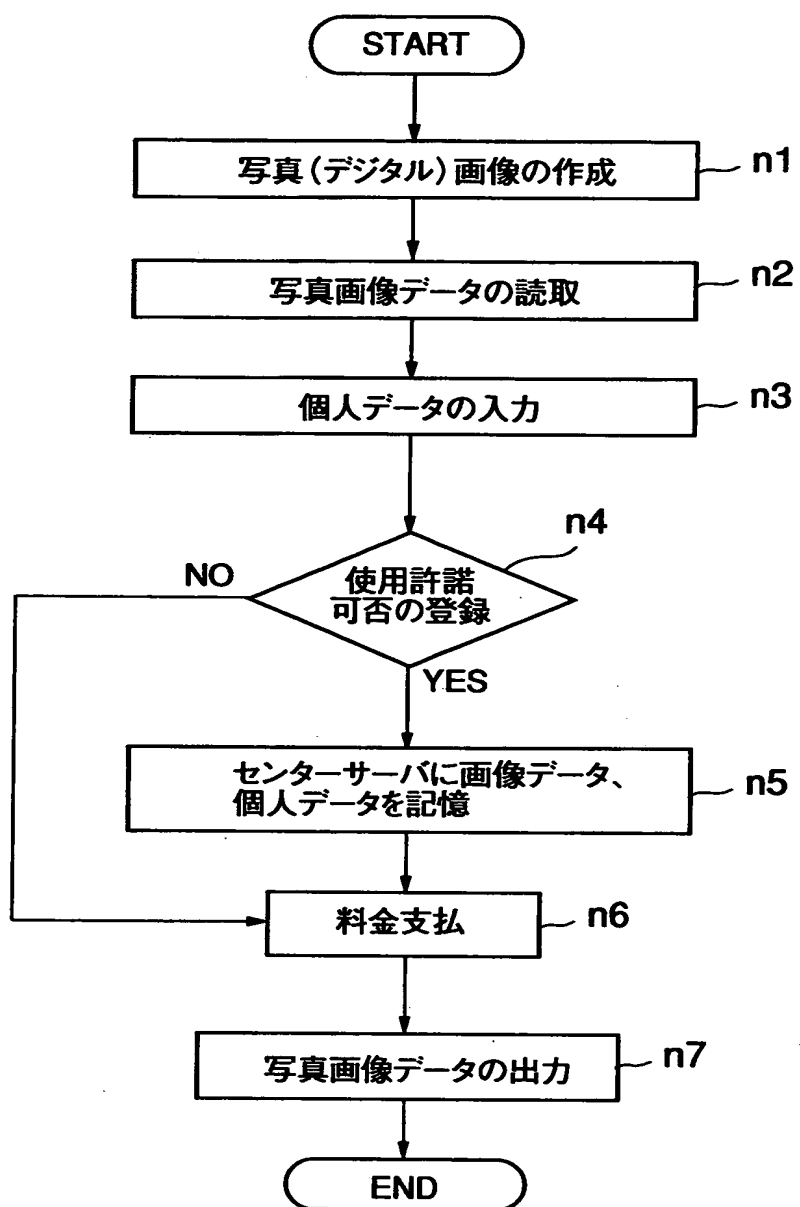
【図 1】



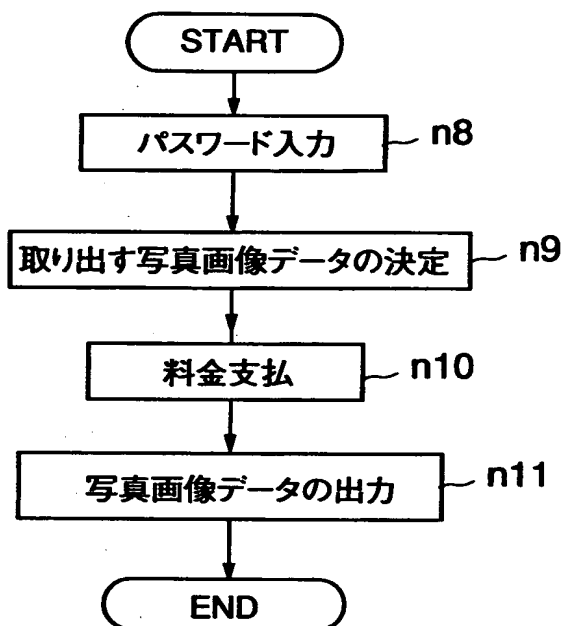
【図2】



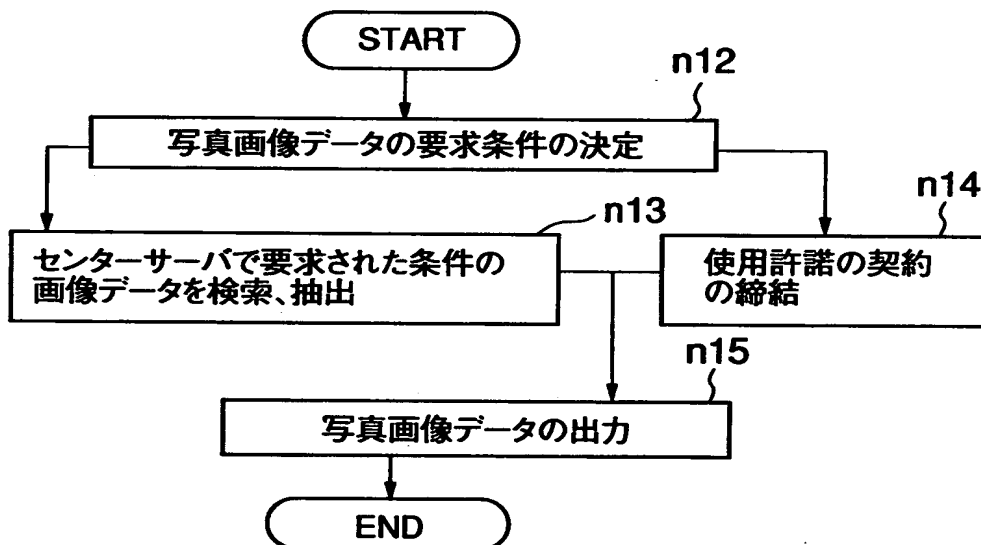
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 個人情報として、デジタル画像の出力物の印画物を安価に入手でき、個人情報所有者ないし被写体個人の許諾条件のもとで、該デジタル画像を第三者が有効に利用することができる、個人画像情報の登録活用システムを提供する。

【解決手段】 デジタルカメラにより撮影された写真画像データを読み取るメディア読取手段と、該写真画像の個人情報を分類化する個人データの入力手段と、該写真画像データの第三者への使用許諾可否の登録手段と、個人データから分類化され、要求された画像データを検索し、抽出するデータベースをもち、該写真画像データと個人データを蓄積し、それらのデータを関連付けて検索、抽出できるセンターサーバと、該写真画像データの出力手段から構成されたシステムであり、使用許諾可の登録がされた時に、メディア読取手段から写真画像データをセンターサーバへ転送し、記憶させ、画像データが検索、抽出対象となり、該画像データの出力が可能となる。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002897]

1. 変更年月日 1990年 8月27日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

氏 名 大日本印刷株式会社